

宮崎市政モニター

令和5年度第1回アンケート集計結果

(令和5年7月実施分)

第1回アンケート

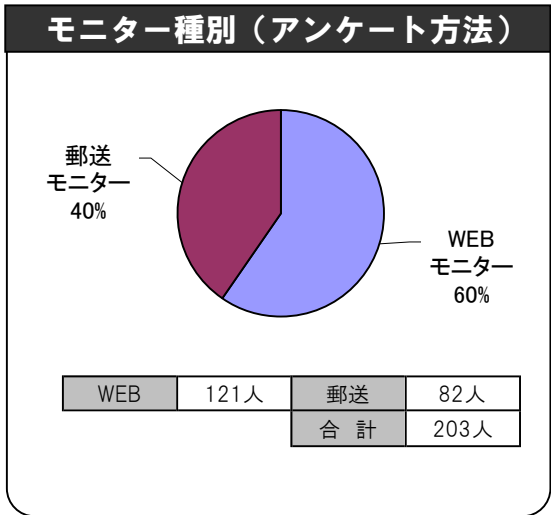
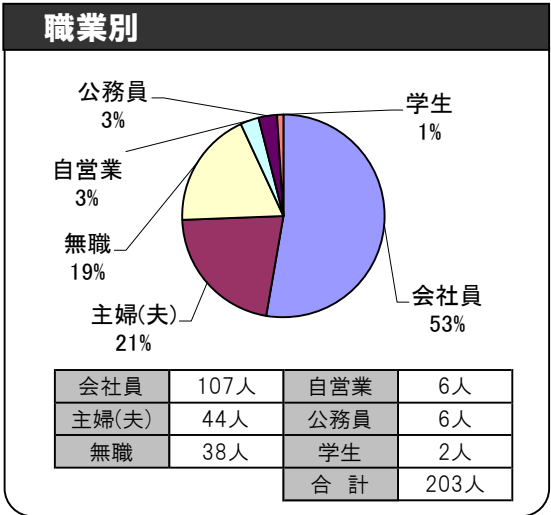
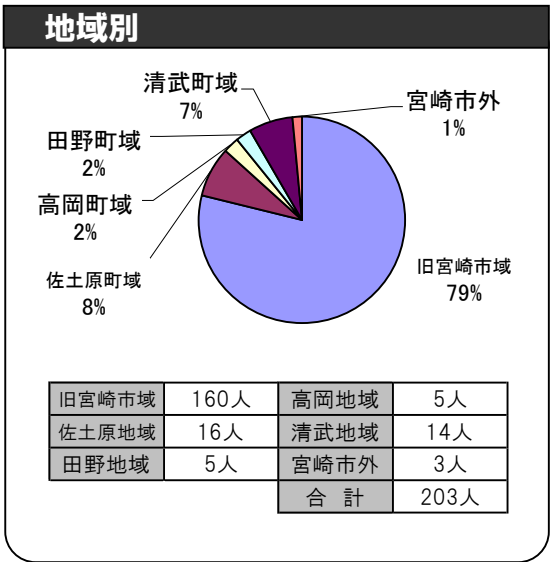
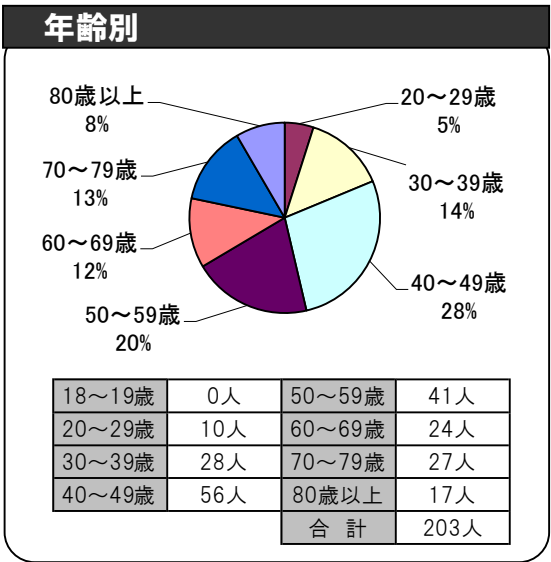
- ① 「自転車利用」に関するアンケート調査 ……P 3～
- ② 「宮崎市の医療」に関するアンケート調査 ……P11～

宮崎市秘書課広報広聴室

令和5年度 第1回宮崎市政モニターアンケート調査概要

(1)調査担当課	①都市整備部 都市計画課 ②健康管理部 保健医療課
(2)アンケート内容	①「自転車利用」に関するアンケート調査 ②「宮崎市の医療」に関するアンケート調査
(3)調査期間	令和5年6月23日～令和5年7月7日 ※終了後も一定期間回収
(4)送付数	203人(WEBモニター:121人、郵送モニター:82人)
(5)回答数	①184人(WEBモニター:106人、郵送モニター:78人) 回答率 90.6% ②181人(WEBモニター:103人、郵送モニター:78人) 回答率 89.2%

モニターの属性 基準日：令和5年4月1日



※回答比率は、小数点第1位を四捨五入しているのため、合計が100%にならない場合があります。

「自転車利用」に関するアンケート調査 集計結果

◆ 調査の目的

自転車利活用に関する市民の声を聞き、本年度見直し予定の「宮崎市自転車活用推進計画」の参考資料とするため

◆ 調査の概要

- (1) 調査期間 令和5年6月23日～令和5年7月7日 ※終了後も一定期間回収
- (2) モニター数 203人
- (3) 回答者数 184人 (回答率 90.6%)
- (4) 担当課 都市整備部 都市計画課

◆ 調査結果考察

【問1～3】日常生活において34%の方が自転車を利用していると回答し、その中で週1回以上利用している方は7割以上いた。食事や買い物、通勤・通学での利用が多く、身近な用途で利用している方が多いことがうかがえる。

【問4】宮崎県では自転車損害賠償保険に加入が義務付けとなったが、加入している方は6割であり、保険加入義務化を周知する取り組みが必要である。

【問5～8】自転車のルールについて全体的な認知度は高かったが、ルールによっては約4割の方が知らなかったというものがあつたり、実際に走行する際、ルールを遵守しないことがあつたりといった現状であることがわかった。

【問10】6割以上の方が自転車の通行量が多い場所で危険や障害を感じたことがあるということがわかった。

【問11, 12】自転車通行空間について、認知度は8割あつたが、実際に走行したことのある割合は4割に満たなかつた。車道を走ることによる恐怖感や危険性を感じるということが理由としてあげられる。

【問13, 14】路上駐輪について、通行時に危険を感じたことがあるという方は約3割であり、路上駐輪の対策は、路上もしくは周辺敷地に公共の駐輪場を整備したほうが良いという回答が多かつた。

【問16～20】シェアサイクル「ミヤトヨピツパ」の認知度は6割以上であつたが、実際に利用した方は全体の9%であつた。シェアサイクルを利用しない理由は自分の自転車を持っている、近くにポートがないなど様々で、今後のシェアサイクル展開のための参考となる意見が得られた。

【問21～23】シェアサイクルポートの設置について、公共用地への設置を推進すべきとの意見が全体の約9割であつた。理由としては、目的地まで距離的な利益性を重視する傾向が高いことがあげられた。

【問24】シェアサイクルの設置場所については、駅やバス停周辺など、利用をする際に公共交通機関との接続を重視する意見が多いことがわかった。

【問25】シェアサイクルに希望することについては、PRやキャンペーンを希望する回答が多くあつた。更なる認知度向上に対する取組が必要との意見がうかがえる。

【問26～28】日常でサイクリングをするという方は全体の14%であり、目的としては健康の保持や運動のためという方が多く、頻度としては、月に1回以上行うという割合が約7割であつた。

【問29, 30】サイクリングをする方にとって、道の整備が最もサイクリング環境に求められていることがわかつたが、サイクリングロードの整備やサイクルマップの配布はすでに実施されており、更なる周知に努力を要することがうかがえる。

◆ 調査結果まとめ

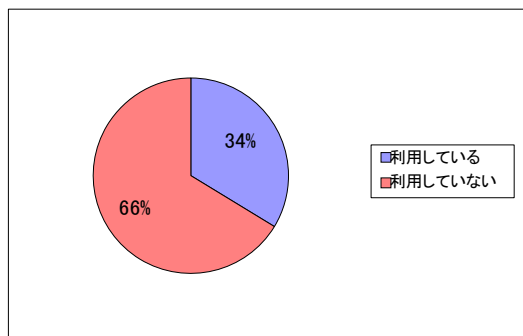
令和元年7月にも同様の市政モニターアンケートを行っているが、今回のアンケートでも同様な結果であつた。自転車のルールについては、車道通行などのルールは多くの方が認知していたが、実際に走行をする際に危険や恐怖感から車道を走行できないというご意見が多く寄せられており、本市における自転車通行空間の整備や、関係機関と連携した自転車及び自動車に向けた走行マナー啓発の必要性が改めて感じられた。

また、シェアサイクルについての認知度は上昇しているものの利用に結びついていない結果が出ており、シェアサイクルの設置場所の増設や利用方法の周知を希望するなど、今後の展開の方向性の参考となる意見や、中・長距離のサイクリングを楽しんでもらえるための環境整備について、検討の参考となる多くのご意見が得られた。この調査結果を参考にさせていただき、計画の見直しに向けた検討や、更なる自転車利用の推進を図っていきたい。

◎ 調査結果

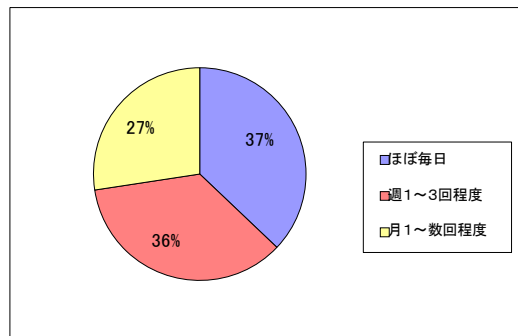
■ 「日常の自転車利用」について

1. 日常生活において、自転車を利用していますか。



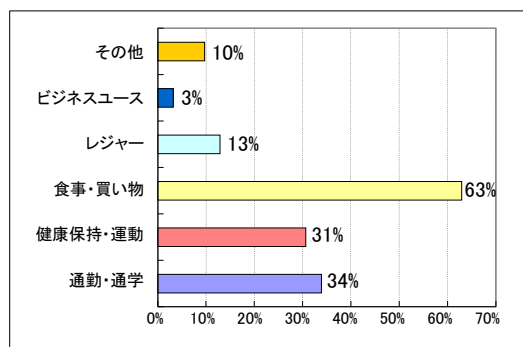
①利用している	34%
②利用していない	66%

2. 自転車を利用する頻度はどの程度ですか。(自転車利用者のみ回答)



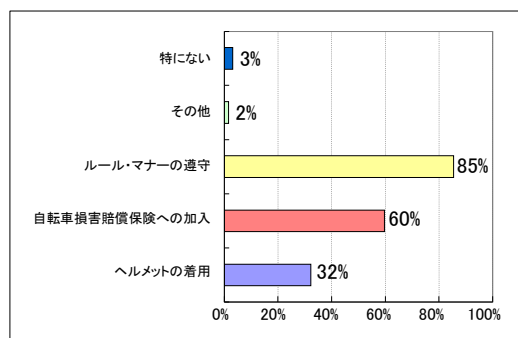
①ほぼ毎日利用している	37%
②週に1～3回程度利用している	36%
③月に1～数回程度利用している	27%

3. 自転車をどういった目的で利用しますか。(自転車利用者のみ回答、複数回答可)



①通勤・通学	34%
②健康の保持・運動	31%
③食事・買い物	63%
④レジャー(サイクリング等)	13%
⑤ビジネスユース(通勤を除く)	3%
⑥その他	10%

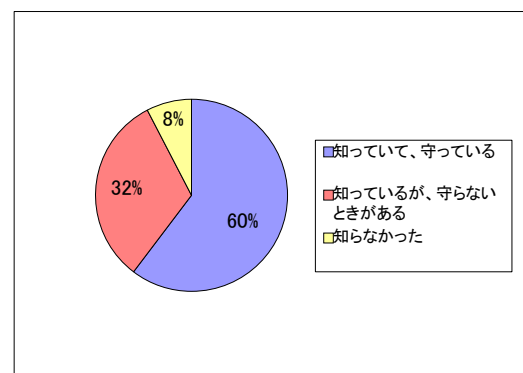
4. 自転車を利用するにあたって行っている安全対策はありますか。(自転車利用者のみ回答、複数回答可)



①ヘルメットの着用	32%
②自転車損害賠償保険への加入	60%
③ルール・マナーの遵守	85%
④その他	2%
⑤特にない	3%

■ 「自転車のルール」について

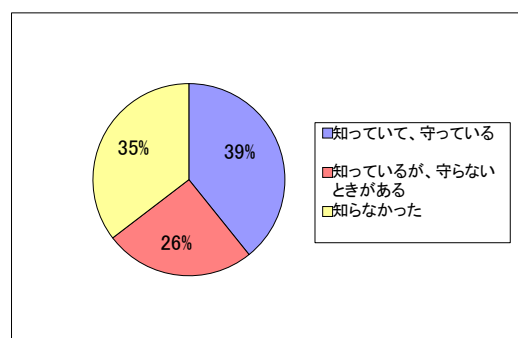
5. 自転車はバイクや自動車とおなじ車両であり、例外的な場合を除いて車道の左側走行が原則であることを知っていますか。



①知っていて、守っている	60%
②知っているが、守らないときがある	32%
③知らなかった	8%

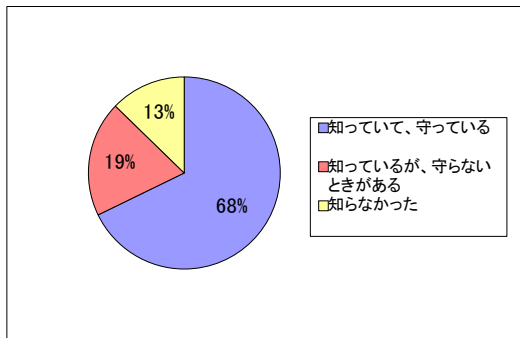
6. 自転車は、以下にあてはまる場合に限り、例外的に歩道を通行することができ、それ以外の場合は車道を通行しなければならないということを知っていますか。

- I. 道路標識、路面標示により歩道を通行できるとされているとき
- II. 児童や幼児(13歳未満)、70歳以上の高齢者であるとき
- III. 車道や交通の状況に照らして、自転車の通行の安全を確保するためやむを得ないとされているとき



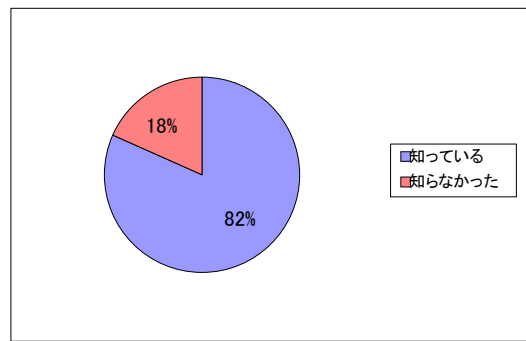
①知っていて、守っている	39%
②知っているが、守らないときがある	26%
③知らなかった	35%

7. 例外的に自転車が歩道を通行できる場合でも、歩道内は「歩行者優先」であり、自転車は車道側を徐行し、歩行者の通行を妨げてはならないということを知っていますか。



① 知っていて、守っている	68%
② 知っているが、守らないときがある	19%
③ 知らなかった	13%

8. 自転車を降りて、押して歩いている場合は「歩行者」扱いとなり、歩道を通行できることを知っていますか。

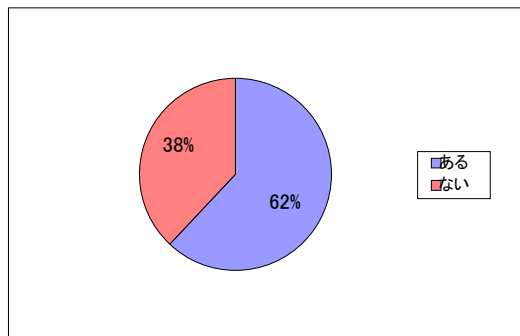


① 知っている	82%
② 知らなかった	18%

9. 自転車ルールについての自由意見(別掲)

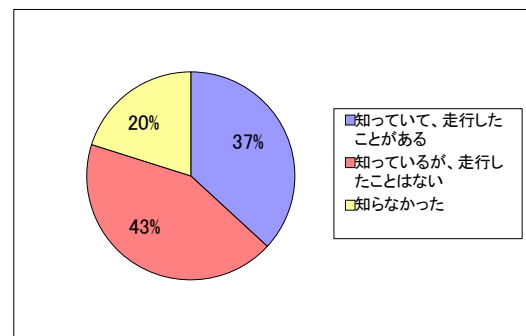
■ 「自転車の通行、駐輪」について

10. 自転車の「通行量」が多い場所で、通行に危険や障害を感じたことがありますか。



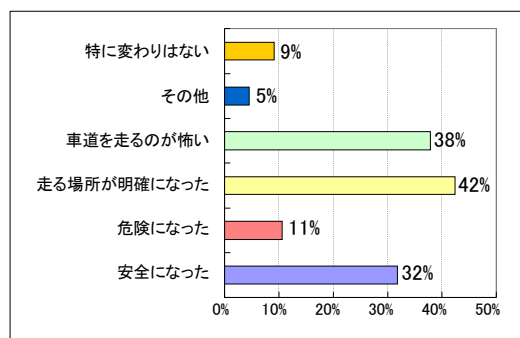
① ある	62%
② ない	38%

11. 自転車通行空間の路面標示を知っていますか。また、実際に走行したことがありますか。



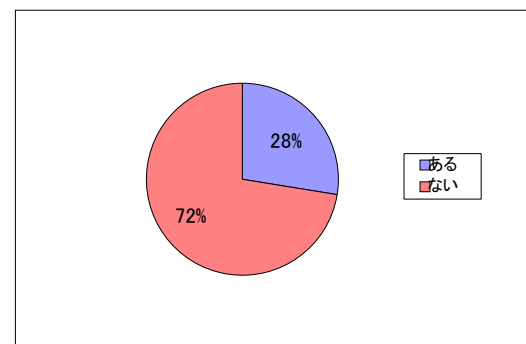
① 知っていて、走行したことがある	37%
② 知っているが、走行したことはない	43%
③ 知らなかった	20%

12. 路肩や交差点等は自転車通行空間が整備されて安全性がどのように変化したと感じますか。(複数回答可)



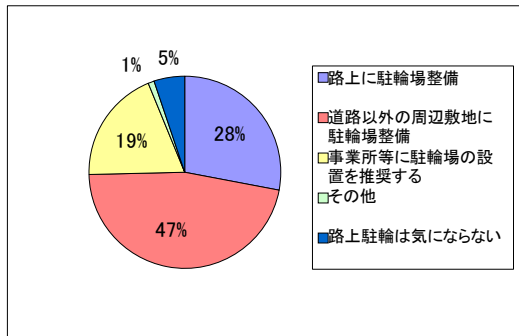
① 安全になった	32%
② 危険になった	11%
③ 走る場所が明確になった	42%
④ 車道を走るのが怖い	38%
⑤ その他	5%
⑥ 特に変わりはない	9%

13. 自転車の「路上駐輪」が多い場所で、通行に危険や障害を感じたことはありますか。



① ある	28%
② ない	72%

14. 中心市街地の路上駐輪が多い箇所における対策についてどのように考えますか。

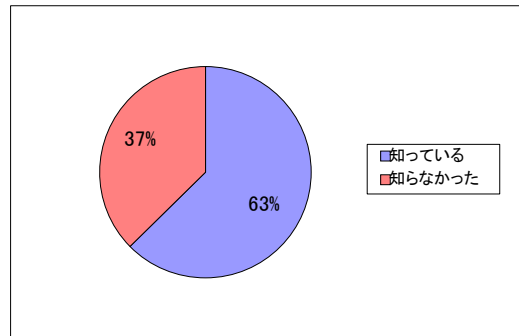


① 路上に駐輪場を整備する	28%
② 道路以外の周辺敷地に駐輪場を整備する	47%
③ 事業所等に駐輪場の設置を義務付ける	19%
④ その他	1%
⑤ 路上への駐輪は気にならない	5%

15. 自転車通行空間や駐輪場についての自由意見(別掲)

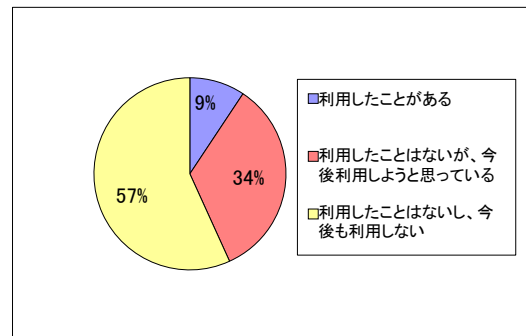
■ 「シェアサイクル【ミヤトヨピッパ】」について

16. 宮崎トヨタ自動車(株)が実施しているシェアサイクル「ミヤトヨピッパ」を知っていますか。



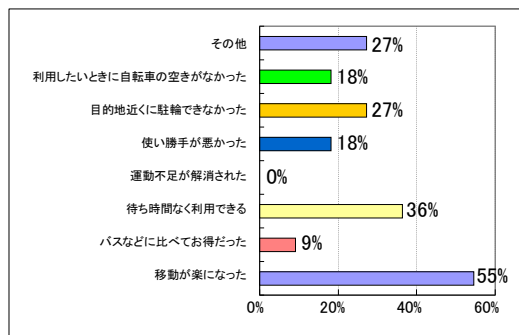
① 知っている	63%
② 知らなかった	37%

17. シェアサイクルを利用したことがありますか。また、今後利用しようと思えますか。



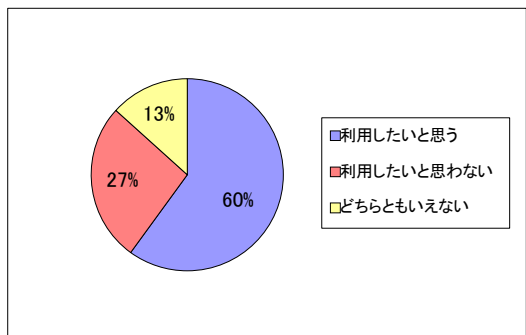
① 利用したことがある	9%
② 利用したことはないが、今後利用しようと思っている	34%
③ 利用したことはないし、今後も利用しない	57%

18. シェアサイクルを利用して良かったこと、悪かったことはありますか。(複数回答可)



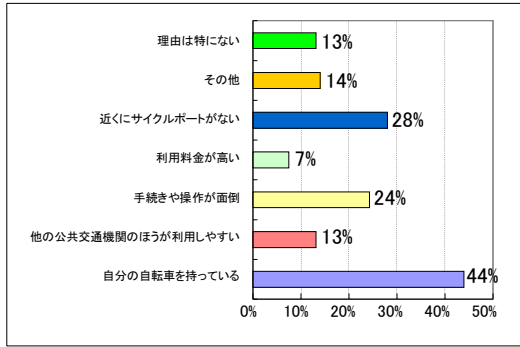
① 移動が楽になった	55%
② バスなどに比べてお得だった	9%
③ 待ち時間なく利用できる	36%
④ 運動不足が解消された	0%
⑤ 使い勝手が悪かった	18%
⑥ 目的地近くに駐輪できなかった	27%
⑦ 利用したいときに空気がなかった	18%
⑧ その他	27%

19. 今後もシェアサイクルを利用したいと思いますか。



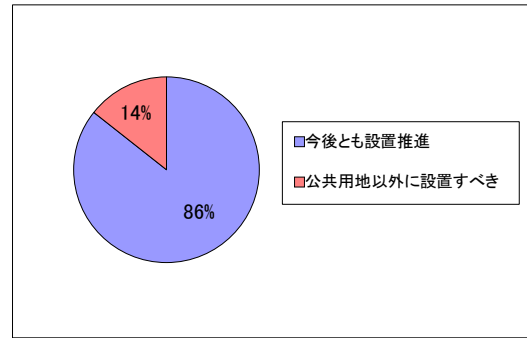
① 利用したいと思う	60%
② 利用したいと思わない	27%
③ どちらともいえない	13%

20. シェアサイクルを利用しない理由は何ですか。(複数回答可)



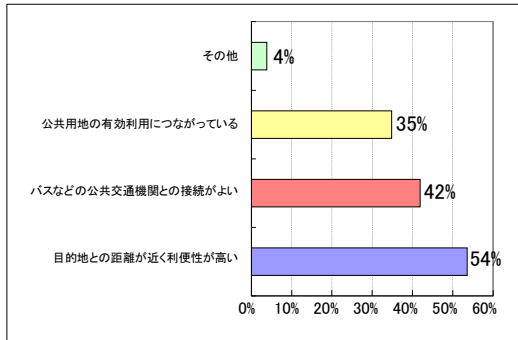
①自分の自転車を持っている	44%
②他の公共交通機関のほうが利用しやすい	13%
③手続きや操作が面倒	24%
④利用料が高い	7%
⑤近くにサイクルポートがない	28%
⑥その他	14%
⑦理由は特になし	13%

21. シェアサイクルでは道路や公園などの公共用地にサイクルポートを設置していますが、このことについてどう思いますか。



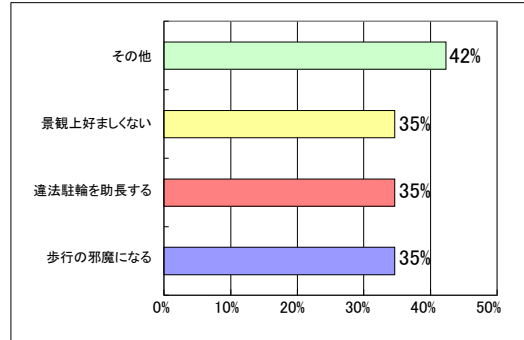
①今後とも設置すべきである	86%
②民有地など公共用地以外に設置していくべきである	14%

22. 「問21」で1を選んだ理由は何ですか。(複数回答可)



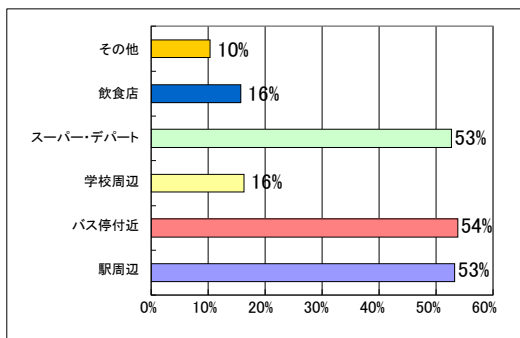
①目的地との距離が近く利便性が高い	54%
②バスなどの公共交通機関との接続が良い	42%
③公共用地の有効利用につながっている	35%
④その他	4%

23. 「問21」で2を選んだ理由は何ですか。(複数回答可)



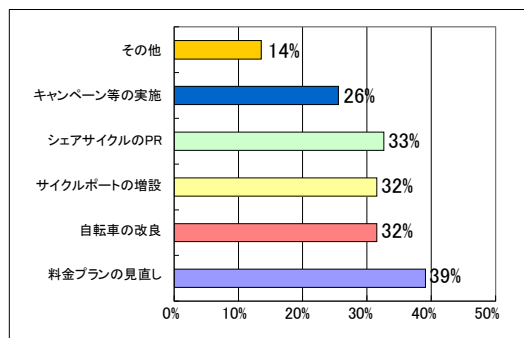
①歩行の邪魔になる	35%
②違法駐輪を助長する	35%
③景観上好ましくない	35%
④その他	42%

24. どのような場所にシェアサイクルが設置されれば利用しやすくなると思いますか。(複数回答可)



①駅周辺	53%
②バス停付近	54%
③学校周辺	16%
④スーパー・デパート	53%
⑤飲食店	16%
⑥その他	10%

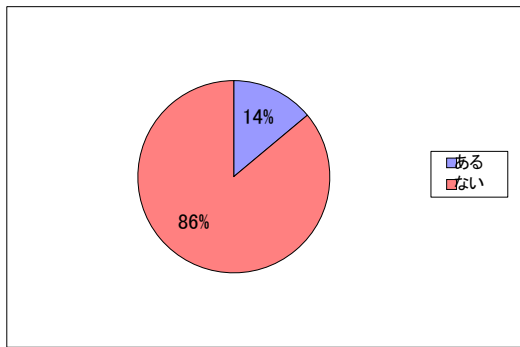
25. 今後シェアサイクルに希望することはありますか。(複数回答可)



①料金プランの見直し	39%
②自転車の改良(電動アシスト等の追加など)	32%
③サイクルポートの増設	32%
④シェアサイクルのPR	33%
⑤キャンペーン等の実施	26%
⑥その他	14%

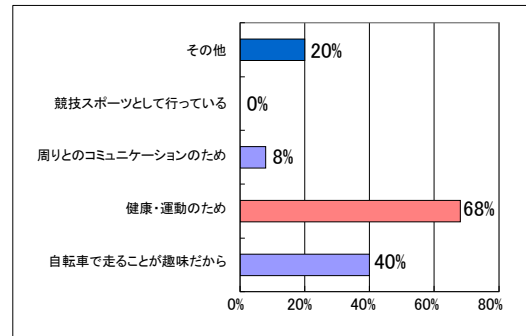
「サイクリング」について

26. 日常でサイクリングをすることがありますか。



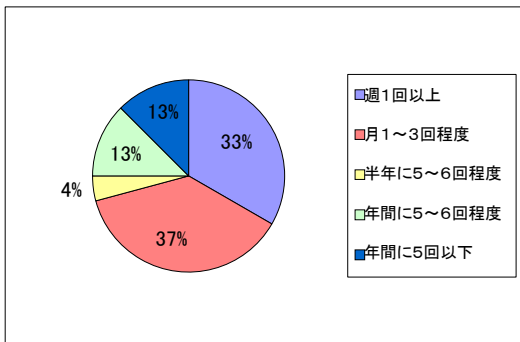
①ある	14%
②ない	86%

27. サイクリングをする理由は何ですか。(複数回答可)



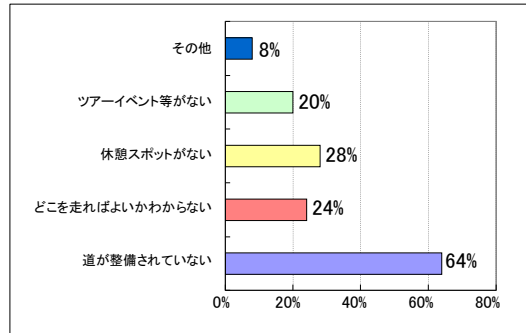
①自転車走ることが趣味だから	40%
②健康・運動のため	68%
③周りとのコミュニケーションのため	8%
④競技スポーツとして行っている	0%
⑤その他	20%

28. サイクリングをする頻度はどの程度ですか。



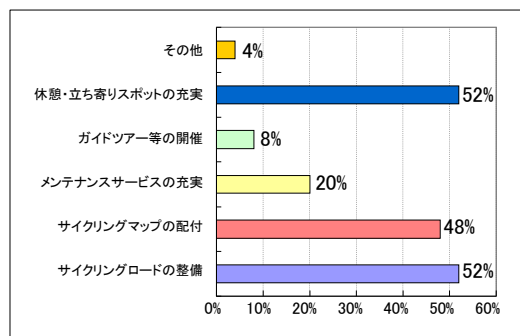
①週1回以上	33%
②月1~3回程度	37%
③半年に5~6回程度	4%
④年間に5~6回程度	13%
⑤年間に5回以下	13%

29. サイクリングをするにあたって、困ったことなどはありますか。(複数回答可)



①道が整備されていない	64%
②どこを走ればよいかわからない	24%
③休憩スポットがない	28%
④ツアーイベントがない	20%
⑤その他	8%

30. サイクリング環境を整えるにあたって、求めるものはありますか。(複数回答可)



①サイクリングロードの整備	52%
②サイクリングマップの配付	48%
③メンテナンスサービスの充実	20%
④ガイドツアー等の開催	8%
⑤休憩・立ち寄りスポットの充実	52%
⑥その他	4%

31. 市が行う自転車促進の活動についての自由意見(別掲)

■ 自由意見まとめ

9. 自転車ルールについての自由意見(主なご意見)

- ・歩道を通行中、反対側から自転車が来ることがあり、危険を感じる。
- ・追い抜かそうと車道に急にはみ出してきた時に、ヒヤッとしたことがある。
- ・宮崎は車社会であり、スピードを落とさない車や自転車通行空間が整備されておらず、狭く車との距離が近いとき、恐怖を感じる。
- ・橋通のバス停付近は降りる人乗る人で危なく感じる
- ・橋通1丁目から4丁目間猛スピードで自転車道・歩道をまたいで走る若者有り。こちらが気を付けて避ける事有り。
- ・狭い道路から自転車に乗った高校生が急に出て来てぶつかりそうになった。何台も横に広がったまま自転車に乗っている(学生多し)
- ・イヤホンして自転車に乗っている方、後ろから車で走っていても聞こえず左側に寄る事もせず、渋滞の原因、接触事故になりかねない危険性があります。
- ・車側からの意見になるが、車道にはみ出しての並走や、周囲を全く確認せずに走行、携帯等使用しながらの運転が多く目に余る。また、中心市街地を歩いているとギリギリをすり抜けていく自転車が危険。
- ・安全運転努めていますけど、通行量が多いところは特に慎重な気配りが必要だと思います。
- ・主に車を運転する立場として、高齢者の運転する自転車がふらついているときに、追い越すのにハラハラします。また、後ろを見ずにいきなり横断することもあり、自転車が車道にいる際に運転するのは怖いです。
- ・シニアカーが自転車を、それを自動車が追い越しをかけて多重追い越しになった。

15. 自転車通行空間や駐輪場についての自由意見(主なご意見)

- ・なるべく駐輪場の設置を努力して欲しい。なかなか難しいことだが、今の所、進んでいないように思う。私も安心して、駐輪場があれば街中にも買い物に出かけたい。
- ・蓮ヶ池駅周辺の駐輪場を整備してほしい。自転車が車道を走行することで、車・バイク・自転車が干渉し、交通事故のリスクが高まったと感じる。十分なスペースのある自転車専用道路の整備や、自動車道と自転車道の間に柵を設ける等、安全確保が重要だと思う。整備がされないまま規制が厳しくなるばかりで、これからの脱炭素社会とは相反すると思う。
- ・自転車の通行を認めている歩道には「路面表示」をもっと増やして欲しい。とくにバス停付近では、その旨注意表示「！バス停！注意！！」などの表示をするなど。
- ・有料の自転車駐輪場を需要の多い場所に設ける。中心市街地では何処でも無料の駐輪場等ないと思う。周囲の人が嫌がるのは駐輪場のごみ化と思う。さび付いた大量の自転車のゴミの山にしてはならないと思う。現状のままでは自転車の持つ諸問題は一つ改善することは出来ないと思う。少し厳しい大英断の措置が欲しいと思います。夜間の無灯火自転車乗り等死亡事故につながる事故も結構多い事を考えるとやはり待ったなしだと思います。
- ・学校を拠点として、その周辺から整備してもらいたいです。中学校、高校など自転車通学生が多く、小学生も同じ時間帯に登校するため、登校時間帯は、歩道は自転車と歩行者で混みあいます。小学生を避けるため、自転車が急に車道に飛び出すケースもたまに見かけます。
- ・シンボルロードの高千穂通りに自転車駐輪場を整備して景観形成してほしい。
- ・堂々と矢羽根の1車道を逆走する自転車が、ヘルメットも装着されていない方でヒヤッとする。また、舗装が劣化していると表示も見えにくく、かつタイヤがとられて走行しにくい。末広通りが特に舗装が酷いです。せっかく矢羽根を3年前に施工されましたが、ぼろぼろです。舗装は排水性も大事ですが、劣化が著しいので要検討かと。
- ・20~30年前と比べ、駅前や橋通の駐輪する自転車は少なく歩道が広く歩きやすくなった。きちんと駐輪場に自転車を置くようになった。
- ・サイクリングナビを増やしてほしい。
- ・広い車道ならいいが、狭い道路に無理やり自転車の通行空間を確保しても、余計危険な気がする。
- ・市中心部、橋通りや宮崎駅周辺は駐輪場が多くないと感じています。私は福岡市出身なのですが、福岡市みたいに有料で歩道の空いているスペースに駐輪場を作ればいいのになと思います。あくまで歩行者の邪魔にならない場所に。路面標示について、分かりやすくはあるけれど狭いし、車は自転車にお構いなしに通るし、効果は薄いと思います。車道を走るのが原則とは分かっていますが、実際に車道を走ると怖さしかありません。

31. 市が行う自転車促進の活動についての自由意見(主なご意見)

- ・自転車の運転マナー(特に学生)の悪さが気になります。自転車マナーに関する番組を設けての啓発や、中・高校での交通指導、ヘルメット着用の促進を行っていただきたいと思います。
- ・利用促進の前に、ルールと道路交通法を知らせないと意味がない。電動キックボードも増えるから尚更。
- ・通学路を優先して自転車専用道路を整備し、自転車事故の起きにくいまちにしてほしい。
- ・宮崎は車社会で車の利便性に依存している人が多い。その中で自転車利用推進する事は大変重要な事だと思う。シェアサイクルは利用の仕方自体を知らない人も多いと思うので利用方法を分かりやすくシェアサイクル駐輪場の前などに掲示してくれるとありがたいし利用者数も増えるのでは？特にQRコードだと年配の方には分かりにくい。
- ・銀行に置いているので、銀行員の人が使っている印象があります。街中の設置が多いので、市街地(会社勤め)の人には便利かもしれませんが。住宅地ではあまり見かけないので、一般市民にはちょっと使いづらいと思います。台湾では、住宅地の駅前にたくさん設置されてありました。宮崎は駅が少ないので、置くならバス停付近でしょうか。
- ・サイクリングしたいとは思っているのですが、ロードバイクの場合、盗難が怖くて遠出できていません。ロードバイクの場合、部品が取られたりすることもあるので、ロックだけでは心もとないです。何か盗難に合わない駐車できる場所があれば、もっと活用できるのに思っています。
- ・サイクリングイベントと健康増進などを交えた開催案内などよろしくお願いします。
- ・私は、仕事を辞めたら毎日の買い物など近くへの移動は自転車を使おうと思っています。筋力をつける為にも経済的な面でも自転車を利用したいです。
- ・ヘルメットは需要が急拡大しているとの事で、中々購入できなかった。これは全国的なのかも。電動アシスト自転車は高価(15万円以下の製品は問題ありとの事)であるので欲しいけど諦めている。もっと安全な製品が安くならないかなあ。
- ・宮崎は坂が無く、自転車の利用に最適です。運動にもなり、公害にも無縁。私は自転車を愛用しています。自転車利用をもっとPRしてもよろしいかと思います。
- ・自転車で行くとサービスがある飲食店とかポイントが貯まるとか…何か楽しみがあると自転車に乗ろうかな～と思いますね。会社に自転車通勤しても交通費が出たらいい。
- ・健康的にも自転車利用はとても良いと思います。
- ・恥ずかしながら、「市が行う自転車利用促進の取組」にどんなことがなされているのか、まるで知りませんでした。遅ればせながら「市自転車活用推進計画 令和2年3月 都市計画課」を眼通しました。立派な内容ですのでこれを強力に推進されることを期待します。また、市としてこのような取り組みをしていることをもっとPRする必要があると思います。
- ・宮崎は公共交通機関が発達しておらず、どうしても車に頼らざるを得ない地域です。私もあえて自転車に乗る理由も機会もなく過ごしています。若いうちは自転車も良いですが、そのうち自転車ですえ危なくなる年齢がきます。宮交だけに頼りきりな交通インフラをもう少し何とかできればなあ…と思う次第です。

「宮崎市の医療」に関するアンケート調査 集計結果

◆ 調査の目的

救急医療は、今後の高齢化社会においても必要な政策であるが、本市では医師の高齢化や小児科医の不足などの課題を抱えており、将来的に、現在の初期救急医療体制を維持できない可能性がある。

そのため市民の皆様がこれからの救急医療に求めているものは何なのか把握することにより、今後の医療政策立案に活用する。

◆ 調査の概要

- | | | |
|-----------|----------------------|--------------|
| (1) 調査期間 | 令和5年6月23日 ~ 令和5年7月7日 | ※終了後も一定期間回収。 |
| (2) モニター数 | 203人 | |
| (3) 回答者数 | 181人 | (回答率89.2%) |
| (4) 担当課 | 健康管理部 | 保健医療課 |

◆ 調査結果

【問1～5】

- ・回答者の属性を示す。

【問6～7】

- ・夜間休日の病院受診までの行動としては、「インターネットの検索サイトで症状等を調べ、受診するか判断する」や「市販薬を使って様子を見る」の割合が高く、「夜間急病センター、在宅当番医等の活用」の割合を上回った。
- ・一方で、オンライン診療を受けている利用者は、ほとんどいなかった。
- ・また、#8000(小児救急医療電話相談)の認知度は、やや低い結果となった。

【問8～9】

- ・夜間急病センターの認知度については、回答者の半数以上が認知しており、過去に利用したことがある割合が最も高かった。
- ・また、利用者の中では、「待ち時間が長い」ことが不満である割合が多かった

【問10】

- ・本市が抱える医療体制の課題(医師の高齢化や不足等)を踏まえ、今後の夜間救急医療体制の在り方については、「在宅でオンライン診療など、夜間・休日の初期救急医療に新たな選択肢を増やす」が最も高い結果となった。

【問11】

- ・回答者のうち、診療所やクリニックのかかりつけ医を持っている割合が最も高かった。

【問12】

- ・救急医療の体制に求めるものについては、「24時間いつでも診療してもらえる」が最も高く、次いで「自宅から近い」の割合が高い結果となった。

【問13～15】

- ・オンライン診療の認知度は、オンライン診療があることを知っている方は多いものの、実際に利用した割合は低い結果となった。
- ・オンライン診療を初期救急医療の手段の一つとして、「あり(受けてもよい)」と回答した割合が高く、その理由として「病院へ通院する時間や待ち時間を削減できるから」、「病院に行く必要があるのか判断するために使えるから(医療相談)」が主な理由であった。
- ・一方で、「なし(受けたくない)」と回答した方のうち、その理由については「視覚から得られる情報は限られるため、実際に病院で診察を受けたいから」が最も高かった。

アンケート集約一覧

質問	項目	件数	割合	統計
Q1	年齢			
	1 15歳以下	0	0.0%	
	2 16歳～34歳以下	13	7.2%	
	3 35歳～64歳以下	117	64.6%	
	4 65歳以上	51	28.2%	
Q2	高校生以下のお子さんの有無			
	1 いる	97	53.6%	
	2 いない	84	46.4%	
Q2-2	子の所属			
	A 未就学児	11	13.4%	
	B 小学生	20	24.4%	
	C 中学生	11	13.4%	
	D 高校生	13	15.9%	
Q3	居住地区			
	1 旧宮崎市	140	77.3%	
	2 佐土原町	14	7.7%	
	3 田野町	4	2.2%	
	4 高岡町	3	1.7%	
	5 清武町	12	6.6%	
	6 その他	8	4.4%	
Q4	自身の病院等への受診回数【年間】			
	1 一度も受診していない	7	3.9%	
	2 1～3回	51	28.2%	
	3 4～7回	48	26.5%	
	4 8回以上	74	40.9%	
Q5	子の病院等への受診回数【年間】			
	1 高校生以下の子がいない	116	67.1%	
	2 一度も受診していない	1	0.6%	
	3 1～3回	11	6.4%	
	4 4～7回	20	11.6%	
	5 8回以上	24	13.9%	
Q6	夜間休日の病院受診までの行動について			
	1 家庭に備え付けの「家庭の医学」などの本を参考にし、受診するか判断する	21	6.2%	
	2 インターネットの検索サイトで症状等を調べ、受診するか判断する	80	23.7%	
	3 #8000（小児救急医療電話相談）などの電話相談を利用し、受診するか判断する	34	10.1%	
	4 かかりつけ医に相談し、受診するか判断する	27	8.0%	
	5 市販薬を使って様子を見る	82	24.3%	
	6 夜間急病センター、在宅当番医等の活用	81	24.0%	
	7 在宅からスマートフォンやパソコンを使用してオンライン診療を受けている	2	0.6%	
	8 その他	11	3.3%	
Q7	#8000（小児救急医療電話相談）の認知度			
	1 認知あり、利用経験あり	39	21.5%	
	2 認知あり、利用経験なし	60	33.1%	
	3 知らない	80	44.2%	
	4 その他	0	0.0%	

Q 8	夜間急病センターの認知度			
	1 認知あり、利用経験あり	89	49.2%	
	2 認知あり、利用経験なし	77	42.5%	
	3 知らない	14	7.7%	
	4 その他	0	0.0%	
Q 9	夜間急病センターに対する不満			
	1 待ち時間が長い	56	32.0%	
	2 自宅から遠い	39	22.3%	
	3 夜 7 時以降でなければ、診療してもらえない	46	26.3%	
	4 その他	34	19.4%	
Q10	医師の高齢化や不足等に伴い今後の初期救急医療に求めるもの			
	1 夜間急病センターの診療日数、診療時間を減らし、可能な範囲で運営を継続する	36	20.1%	
	2 夜間急病センターの診療科目（内科、外科、小児科）を減らし、可能な範囲で運営を継続する	24	13.4%	
	3 在宅でオンライン診療など、夜間・休日の初期救急医療に新たな選択肢を増やす	83	46.4%	
	4 その他	21	11.7%	
Q11	「かかりつけ医」について			
	1 かかりつけ医をもっている	134	74.4%	
	2 かかりつけ医をもっていない	42	23.3%	
	3 その他	4	2.2%	
Q11-2	「かかりつけ医」の種類			
	A 病院	21	15.4%	
	B 診療所・クリニック（開業医）	43	31.6%	
	C 病院と診療所の両方	9	6.6%	
	D その他	0	0.0%	
Q 1 2	救急医療体制に今後求めるもの			【複数回答】
	1 自宅から近い	57	17.4%	
	2 待ち時間が短い	44	13.4%	
	3 費用が安い	18	5.5%	
	4 専門医に診てもらえる	50	15.2%	
	5 どんな診療科でも診てもらえる	55	16.8%	
	6 軽症から重症までどのような状態でも診てもらえる	18	5.5%	
	7 24 時間いつでも診療してもらえる	81	24.7%	
	8 その他	5	1.5%	
Q 1 3	オンライン診療について			
	1 オンライン診療で、医師に診察や薬を処方してもらった経験がある	7	3.9%	
	2 サービスがあることは知っているが、利用したことがない	135	75.4%	
	3 知らない	34	19.0%	
	4 その他	3	1.7%	
Q 1 4	オンライン診療は、初期救急の手段としての考え			
	1 あり（受けてもよい）	125	69.8%	
	2 なし（受けたくない）	43	24.0%	
	3 その他	11	6.1%	

Q15 オンライン診療に対するメリット・デメリット

1 在宅（自宅や職場）で、診察から薬の処方までが完結できるから	58	18.8%	
2 病院へ通院する時間や待ち時間を削減できるから	89	28.8%	
3 プライバシーが守られた診察を受けたいから （他人に知られずに受診したい）	4	1.3%	
4 病院に行く必要があるのか判断するために使えるから（医療相談）	65	21.0%	
5 病院で他の病気に感染するリスクを下げられるから	19	6.1%	
6 視覚から得られる情報は限られるため、実際に病院で診察を受けたいから	27	8.7%	
7 病院を受診する場合は、オンライン診療では対応できない症状が多いから	21	6.8%	
8 精密検査など、病院で検査する必要があるから	13	4.2%	
9 その他	13	4.2%	

Q16 本市の医療政策に関するご意見(一部抜粋)

- ・救急医療は、病気に対する必要者には絶対的に必要な体制。しかしながら、一般市民の現状（必要な時に仕事から離れられない。相談できる「かかりつけ医」が夜間はいないクリニックも多いと聞く、日頃からの医療や救急時の対策が日常生活の中に生きていない・・・」等々、安易な今の私達の考え方や、救急車の利用の仕方、相談出来るオンラインの普及など、まだまだ行政の不十分さは有ると考えられる。
- ・願わくば、質の高い医療が受けられる、宮崎市立病院があるとありがたい。
- ・オンライン診療をもっと進めてもらえれば、交通弱者の助けにもなりますし、待ち時間という不毛な時間も削減でき非常に有用であるように思います。どうしても診療した方が良い人に通院が限られるため、コロナなどの院内感染にも寄与できるように感じます。ぜひできる診療科から積極的に進めてもらいたいです。皮膚科で定期的に塗り薬もらうので、カメラに患部を写して診てもらえそうな気がしました。
- ・医師、看護師を含めて不足していると感じています。もっと、かかりつけ医の制度を定着させ救急医療体制に余裕を持たせる必要があると思います。
- ・コロナ禍で痛感したのが医療体制の脆弱性だった。行政もそこを解っていないながら何故改善できないのか、と疑問に思っていた。しかし今回のアンケートで救急医療にまで影響が及びかねないことを知り、大きな不安を抱いている。幸い本市の市長は医師なので、医療難民が出ない対策をこうじて頂きたいです。
- ・オンライン診察がもって進むことで病状によっては緊急医療機関の診察を回避できるため、今後更なる積極的な展開をお願いします。
- ・やはり夜間に診察していただけるのは大変ありがたい。直接診ていただける安心感があるので待ち時間の長さは仕方ないと思う。極力、夜間受診は控え自宅で様子を見るようにしているが、その判断に悩みます。医師不足で夜間急病センターの維持困難も理解できるので、今後はオンライン診療も選択肢の一つとして認識しておかねばと思いました。
- ・在宅医を増やしてほしい。
- ・小児科に勤めていますが、在宅医で緊急性がないのにも関わらず来院される方が非常に多いです。（無料～2000円なので気にせず受診されるのだと...）またかかりつけ医の認識も昔今のお母さんたちはとても低い（ドクターがいや、治らないという理由であちこちの病院を受診する）と思うので、かかりつけ医の大切さ、在宅医、夜間救急の受診基準みたいなものを発信していただきたいです。
- ・夜間急病センターの先生方には何度かお世話になった事があります。（本人）が診ていただくことでホントに安心します。かかりつけ医でもいつでもTELしてきなさいと言ってくださる先生もいてホントに心強いです。ドクターの激務にはホントに頭が下がるばかりです。